

2月26日(月)

## 主の物語の中で生きる

聖書朗読 詩篇 22:22～31

私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。ローマ 1:16

詩篇の作者は、自分たちを取り巻く出来事を賛美すると同時に、メシアを待ち望みました。私たちは、詩篇22編にキリストの十字架の比喻を見ます。キリストの舌は、上あごにくっつき、骨がさらされ、兵士たちはキリストの着物をくじ引きで分け合いました。しかし、キリストが受けられた苦しみのお話は、そのときはまだ明らかにされておらず、詩篇の作者は神様の義への確信を繰り返し賛美して終わります。その確信は、今もこれからも永遠に信頼できることであり、次に何が起ころうとも、彼らの潜在意識に深く根づいているものでしたが、詩篇の作者たちは、キリストの全物語を知ることではできませんでした。

私の生徒の一人は、無神論者の親のもとで育ち、宗教に関しては全くの無知でしたが、友人が助言してくれて、聖書を読みました。懐疑的でしたが、ほとんど先入観なしに読みました。彼女には聖書に書かれている物語を理解するための備えはありませんでしたが、福音書のイエス様の物語を読んでいるとき、突然、自分が「この物語の一部」になることを望んでいることがわかりました。そして今では、彼女はこの物語の次に起こることの中で生きています。

物語は終わってはいません。22編の詩篇の作者とともに、主を今日、賛美しましょう。

讃美歌 226

祈り 福音のような物語はありません。それによって、私たちは変えられました。私たちがその物語の中で生きていることを知ることで、その物語にひかれる友を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

スティーブン・S・レムリー 編集担当

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月27日(火)

## 立ち上がって神様をたたえる

聖書朗読 詩篇 8編

私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。

I ペテロ 1 : 3

あなたのチームが決勝点をあげたら、あなたは立ち上がって、ほかのことすべてを中断して応援するでしょう。

イスラエルの民が神様をたたえるとき、家族も親族も友人も、みんな一緒に立ち上がりました。詩篇8編はイスラエルの賛歌のひとつであり、『私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。』が第1節です。

おそらくイスラエルの民はダビデのこの言葉を歌いながら、思いを一つにして互いに頷き合ったことでしょう。『あなたは幼子と乳飲み子たちの口によって、力を打ち建てられました。それは、あなたに敵対する者のため、敵と復讐する者としずめるためでした。』(2節)と彼らは歌い続けます。そして、この箇所では、母親は3歳のわが子に「その通りよ」と言ったのではないのでしょうか。

『人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。あなたは、人を、神よりいくらか劣るものとし、これに栄光と誉の冠をかぶらせました。』(3~4節)と歌うとき、部族での自分の地位に文句を言っている甥っ子に向かって、叔母さんは「ほらね、すべてのことが正しく行われているのよ。わかるでしょ」と言って、目で合図をしたことでしょう。

始まりと同じように、『私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。』で賛歌が終わるとき、杖にもたれかかっているおじいちゃんは「そうだ、そうだ、そうだ!」と言い、それを聞いた孫が「ねえ、おじいちゃん、立ちあがって歌おうよ」と言ったに違いありません。

讃美歌 457

祈り アブラハムと私たちを選んでくださった主なる神様。私たちは立ち上がって、あなたの御恵みを賛歌します。あなたが神様であられ、私たちの贖い主であることを大きな声で歌います。唯一あなたこそ、私たちの喜びであり希望です。

イエス様の御名において。アーメン。

エミリー・Y・レムリー 編集担当

2月28日(水)

## 神様の沈黙には意味がある

聖書朗読 詩篇 10 : 1~12

主よ。なぜ、あなたは遠く離れてお立ちなのですか。苦しみのときに、なぜ、身を隠されるのですか。詩篇 10 : 1

地震や雷などの自然災害のとき、神様は力強く御力を発揮されていていらっしゃるが、神様の存在が単に沈黙によってあらわされるときもあります。マスコミの情報に占領されている人、テレビを常につけっぱなしの人、信号で止まるたびにカーステレオを大音量にする人にとって、沈黙はまれです。人間の不安は、存在することの保証を求めてやかましく叫びます。

ダビデと彼の同時代の人たちは、神様にしていただきたいとお願いしたこと、に、神様がすぐに行動で応えてくださらないとき、神様を理解するのに苦しみました。私たちもまた、神様の静寂を受け入れるのが難しいものです。

私たちは、新しい金属部品でできたガチャットはめる留め具や、外科的な技術で修復できる機械的な装置ではありません。私たちは、創造主によって『奇しいことをなさって恐ろしいほど』(詩篇139 : 14)にしていただき、創造主であられる神様は、神様にある信仰によって生きるように、私たちをお造りになり、信仰はしばしば神様の沈黙によって試され、証しされます。そのことを、ヤコブは『信仰が試されると忍耐が生じる』(ヤコブ1 : 3)と正しく記しています。詩篇に書かれているようなダビデの試練は、彼の感嘆の叫びによって証明される忍耐を生み出しました。その叫びとは『主よ。あなたは貧しい者の願いを聞いてくださいました。』(詩篇10 : 17)です。勝利を得た信仰は、神様の沈黙には、常に意味があるということがわかっているので、忍耐強く待つのです。

讃美歌 313

祈り 親愛なるお父様。あなたの愛は決して損なわれないということを知ること、あなたが遠く離れていらっしゃるように思う瞬間を耐えることのできる信仰を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・E・ブレア 1979

3月1日（木）

## 忠 誠

聖書朗読 詩篇 15編

こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。 エペソ 2：19

主義と国への忠誠心は、今やなくなりつつあります。市民権は権利と義務の両方を担うという考えは、今の社会では控えめにしか言われなくなってきています。

神様の御国に市民権をささげるという聖書の基本は、今も、そしてこれからも永遠にキリストに忠誠であることを意味します。キリストのうちにこそ、良き市民のための忠誠と権限を引きつける御国があります。

詩篇15編には、シオンの市民のことが書かれています。誰が主の住まいに住むのでしょうか？ それは、忠誠心と献身をあざける人ではなく、忠誠心とともに歩み、主により頼む者です。このような者は悪を退け、神様をたたえます。天国が治めることに調和し、人の陰げ口を言ったり、妬んだりせず、信仰の友に敬意を払います。

天国に市民権がある者は、キリストの御国への日々の忠誠を自らすすんで誓い、そのためなら死をも厭いません。キリストへの忠誠が、生きることと死ぬことの理由だからです。キリストへの忠誠が少なくなっていく世の中であって、『このように行なう人は、決してゆるがされない。』（5節）のです。

讃美歌 452

祈 り 私たちの主よ。御子の王国の市民としての御恵みと責任を、私たちが常に自覚することができますように。  
イエス様の御名において。アーメン。

グローバー・H・シップ 1963

3月2日（金）

## 静 ま っ て 知 る と き

聖書朗読 詩篇 4：1～8

イサクは夕暮れ近く、野に散歩に出かけた。彼がふと目を上げ、見ると、らくだが近づいて来た。 創世記 24：63

リベカが初めて彼女の夫イサクと出会ったとき、彼は神様の下にあってただ独りでした。イサクとはどんな男であるのか、リベカはさっそくそのことを知る機会に恵まれたのです。今日、夫が黙想をしている場面を目撃することの出来る女性はいっぱいいないでしょう。私たちは周囲とメディアを通じて繋がりがすぎていますし、日々の複雑な仕事や悩み事でいっぱいだからです。

しかし黙想をすることにはたくさんの利点があります。頭の中を明瞭にさせ、気を引き締めることができますし、神様と一対一で向き合うことで御言葉をより深く、より確かに理解し受け入れることができます。神様の下で行う黙想は私たちの今の状況を冷静に観察することができますし、神様の創造と恵みに深く感謝することができます。神様を見つめれば、私たちがどこに向かうために今を生きているのかははっきりと見えてきます。黙想に多くの時間をかけていたダビデが神様から『わたしの心になった者』（使徒 13：22）と評されたことはけして偶然ではないのです。

良き知らせとは遅れてやって来る。

それを運ぶ者が神に感謝をする時間を要するからだ。

—————Mary S. Wood

讃美歌 39

祈 り 父よ。私たちが静まってあなたと向かい合う時が与えられていることを感謝いたします。静まってあなたの栄光と目的を知り、今日も歩めますように。アーメン。

リック・ピッチマン 1984

3月3日 (土)

## 神の愛は永遠に

聖書朗読 詩篇 136 : 1～26

あなたは知っているのだ。あなたの神、主だけが神であり、誠実な神である。主を愛し、主の命令を守る者には恵みの契約を千代までも守られる。 申命記 7 : 9

毎日問題はやってきて、そして毎日その解決法もやってきます。イエス様は『あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分にあります。』(マタイ 6 : 34) と述べています。要するに私たちは今日だけでも十分にしないで十分な仕事を与えられており、昨日のことでイライラしたり、明日のことでクヨクヨしたりする時間なんてないのです。

イエス様は私たちを癒し、私たちの問題を解決してくださる素晴らしい方です。今日読んだ箇所だけでも、イエス様の慈悲深さ、その王国は永遠のものだとわかります。

もし私たちが今日中に重要な決断を下さなければならないとしても、神様が隣にいて手を貸していることを知っておくことが重要です。

イエス様は私たちやその問題を気にするだけでなく、いつも私たちに寄り添ってくださっているのです。その事実を知っていればどんな時でも私たちは勇気をもって歩むことができます。

讃美歌 第二編 37

祈り 神様。いつも私たちの隣にあって、日々の問題の解決をしてくださること感謝いたします。どうか今日一日もあなたを感じ続けることができますように。アーメン。

V・M・ワトソン 1977

3月4日(日)

## いつでも神を信頼する

聖書朗読 詩篇 138 : 1～8

主は、すべてのわざわいから、あなたを守り、あなたのいのちを守られる。

詩編 121 : 7

今日、現代科学工業研究所に見学に行ったときに、とても小さいのにとんでもない性能をほこる電子機器を目にしました。人類の英知はここまでやってきたかという感慨と、以前とは比べ物にならないような卓越した技術の発達への感動が胸に残りました。

しかしそんな科学の時代であっても、人類の知識は不十分であったと今日では考えられている3000年前に書かれた書物に立ち返ります。しかし詩編の中でダビデは現代でさえ比較にならないほどの何百万ものひらめきを、慰めを、知恵を見せています。彼の神様への熱心さのみが、この信仰にあふれた素晴らしい詩を完成させたのです。

詩篇の中でダビデは自らの人間性、すなわちその希望と神様への完全なる服従を描いています。どんなに彼が力を得たとしても、それらが神様には劣るものだと自覚していました。そんな神様への服従だけが確かな平穏を与えることが分かっていたのです。

母が子をあやすように、嵐を静めたる主よ。

素晴らしき王よ、私を導け。

—————Edward Hopper

讃美歌 讃美歌21 45

祈り 永遠の主よ。ダビデの言葉を今日、与えてくださり、あなたの素晴らしさを知ったことを感謝いたします。アーメン。

ドナルド・J・ミラー 1963